

令和3年度
全国学校保健・安全研究大会
開催要項



写真提供：岡山後樂園

令和3年度 全国学校保健・安全研究大会
岡山県実行委員会

令和3年度全国学校保健・安全研究大会開催要項

1 趣 旨

近年の社会環境や生活環境の急激な変化は、子供の心身の健康にも大きな影響を与えている。学校生活においては、メンタルヘルスにかかわる課題、アレルギー疾患、性に関する課題、依存症、感染症など、現代的な健康課題は多様化かつ深刻化している。また、登下校中の交通事故や不審者への対応など、学校管理下における子供の安全と安心確保がますます重要な課題となっている。さらには、東日本大震災をはじめ各地で発生する自然災害等を鑑みた新たな「防災教育」の充実、原子力災害への対応など、新しい課題も発生してきている。

これらの課題解決を図るためには、学校全体として学校保健・学校安全に取り組む校内の組織体制を整備するとともに、学校・家庭・地域が一体となり、確かな学力、豊かな心、健やかな体の調和を重視する「生きる力」を育む教育を推進していく必要がある。

本大会は多年にわたる研究成果を踏まえ、生涯を通じて心豊かにたくましく生きる子供の育成をめざして、諸課題について研究協議を行い、学校保健・学校安全の充実発展に資するものである。

2 主 題

生涯を通じて、心豊かにたくましく生きる力を育む健康教育の推進

～自他の健康で安全な生活の実現に向けて、主体的に取り組むことができる子供の育成～

3 主 催

文部科学省、岡山県教育委員会、岡山市教育委員会、(公財)日本学校保健会、岡山県学校保健会

4 期 日

令和3年10月28日(木)～29日(金)

5 開催方法及び会場

開催方法 ウェブ開催(ウェブ会議システム Zoom によるライブ配信(※1)及び録画配信(※2))

※1 インターネット上で、遠隔地の映像をリアルタイムで視聴することができる配信＝生放送

※2 ライブ配信を録画した映像を、指定期間内(令和3年11月5日(金)～12月5日(日)の予定)、いつでもインターネット上で視聴することができる配信

会 場 ピュアリティまきび(岡山県岡山市北区下石井二丁目6-41)

6 内 容

(1) 全体会(開会式、表彰式、記念講演)

- ・開会式
- ・表彰式

学校保健・学校安全の功労者に対する文部科学大臣表彰を行う。

- ・記念講演

講師：昭和大学医学部 内科学講座 臨床感染症学部門 客員教授 二木 芳人 氏

(2) 課題別研究協議会

10 課題について、課題別に研究発表、研究協議、指導助言及び講義を行う。

※1 課題につき、3つの研究内容を発表する。

(3) 全国学校保健会中央大会

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に鑑み、誌上開催

※実施内容については、新型コロナウイルス感染症の感染状況等によって、変更する場合があります。

7 日程及び内容

【1日目】10月28日（木）

13:00	13:30	14:00	14:30	16:00
	【開会式】	【表彰式】	休憩	【記念講演】
	主催者挨拶等をライブ配信・録画配信	表彰式をライブ配信・録画配信		記念講演を会場・参加者間で双方向性のあるライブ配信・録画配信

【2日目】10月29日（金）

9:30	12:00	13:00	15:30
	【課題別研究協議会】 (5課題)	休憩	【課題別研究協議会】 (5課題)
課題別研究協議会（発表者3人、指導助言者1人、講師1人が順番に発表・講演）を会場・参加者間で双方向性のあるライブ配信・録画配信			

- 8 参加定員及び参加対象者 3,000人（①+②）
- ①ライブ配信+録画配信対象者 1,000人
（①については、先着申込対応とする。）
 - ②録画配信のみの対象者 2,000人
（②については、①の定員（1,000人）を超過した場合に対応する。）
- (1) 幼稚園、認定こども園、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校の校（園）長、副校（園）長、教頭、主幹教諭、保健主事、養護教諭、保健体育科教諭、安全担当教諭、その他の教職員
- (2) 学校医、学校歯科医、学校薬剤師
- (3) 教育委員会の学校保健・学校安全関係職員
- (4) 学校保健会事務局の職員
- (5) P T A会員、その他都道府県・指定都市・中核市教育委員会で適当と認めた者

- 9 ウェブ参加費 1,000円（大会誌、送料込み）

10 関係団体が主催する行事

- (1) 第52回全国学校保健・学校医大会 令和3年10月30日（土）
ウェブ開催
- (2) 第71回全国学校歯科医協議会 令和3年10月28日（木）
ウェブ開催
- (3) 第71回全国学校薬剤師大会 開催中止

〔別表〕 令和3年度全国学校保健・安全研究大会 課題別研究協議会

課題	研究協議題	研究協議題設定の趣旨	研究協議の内容
第1課題	学校経営と保健組織活動	心豊かにたくましく生きる力を育てるためには、児童生徒の発達の段階を考慮して学校教育活動全体で取り組む必要がある。 そのため、学校経営の進め方と保健主事等の果たす役割並びに学校、家庭及び地域社会が一体となった組織活動の効果的な取組について協議する。	① 健康教育を中核とした学校経営の進め方について ② 保健主事を核として推進する健康教育の進め方について ③ 学校、家庭及び地域社会が連携した学校保健委員会の効果的な取組について
第2課題	保健管理	生涯にわたり心身ともに健康な生活を送るためには、ヘルスプロモーションの理念を生かし、学校や地域の実態、個々の子供に応じた対応を図る必要がある。 そのため、学校での適切な保健管理の進め方について協議する。	① 適切な健康診断の実施と事後措置の進め方並びに結果の活用について ② ヘルスプロモーションの考え方を生かした指導や保健管理の進め方について ③ 感染症・食中毒等の予防及び発生時の対応について
第3課題	心の健康	自然災害や重大な事件・事故の発生に伴う子供の心のケアや、友人や家族などの人間関係の悩みなど、メンタルヘルスに関する問題が多様化している中、これらの問題への適切な対応が求められている。 そのため、心の健康づくりを目指した教育活動や校外の組織体制づくりの進め方について協議する。	① 児童生徒の課題に即した心のケアや健康相談の進め方について ② 心の健康づくりを目指した教育活動の展開と環境整備等の進め方について ③ 学校、家庭及び地域の関係機関との連携を図った心のケアの進め方について
第4課題	現代的健康課題	多様化する現代的健康課題に適切に対応するための保健活動の進め方 現代的健康課題への対応にあたり、年齢や生活環境などに応じて、運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活を続ける必要がある。 そのため、生涯にわたり健康を保持増進するための望ましい生活習慣づくりに関する指導の進め方について協議する。	① 発達の段階に応じた望ましい生活習慣づくりの進め方について ② 各教科、特別活動及び総合的な学習の時間等との関連を図った指導の進め方について ③ 学校、家庭及び地域社会が連携した望ましい生活習慣づくりに関する指導の進め方について
第5課題	歯・口の健康づくり	生涯にわたる健康管理の基盤となる歯・口の健康づくりの進め方 生涯にわたる健康づくりを实践するためには、自分の歯や口の健康に関心をもち、自分の課題を把握し、解決していくことができる資質や能力を育てることが大切である。 そのため、歯・口の健康づくりを目指した学校歯科保健活動の進め方について協議する。	① 歯科健康診断の効果的な実施と結果等を活用した健康教育の実施について ② 各教科、特別活動及び総合的な学習の時間等との関連を図った指導計画の作成、実施、評価及び改善について ③ 学校、家庭及び地域社会が連携した学校歯科保健活動の進め方について

課 題		研究発表者	講師・指導助言者（コーディネーター）
第1課 題	学校経営と保健組織活動	① 鳥取県立鳥取商業高等学校 校長 岩田直樹	○講師 宇都宮大学 准教授 久保元芳 ○指導助言者（コーディネーター） 鹿児島県教育庁保健体育課 係長 楠生勝宏
		② 岡山県岡山市立横井小学校 教諭 江坂まゆみ	
		② 茨城県大子町立大子西中学校 教諭 金谷由香里	
第2課 題	保健管理	① 大阪府大阪市立桜宮高等学校 養護教諭 幡中理恵	○講師 びわこ学院大学 教授 岩崎信子 ○指導助言者（コーディネーター） 兵庫県教育委員会事務局 体育保健課 指導主事 平澤郁子
		② 岡山県岡山市立上道中学校 養護教諭 柚木都世子	
		③ 大分県宇佐市立四日市北小学校 養護教諭 大石由紀子	
第3課 題	心の健康	① 岡山県倉敷市立玉島西中学校 養護教諭 宮田祥枝	○講師 東京都立松沢病院 院長 水野雅文 ○指導助言者（コーディネーター） 広島市教育委員会学校教育部 健康教育課 指導主事 山根由加理
		② 香川県立丸亀高等学校 養護教諭 尾藤方美	
		③ 高知県土佐市立高岡第一小学校 養護教諭 元吉直子	
第4課 題	現代的健康課題	② 高知県津野町立精華小学校 養護教諭 中越利恵	○講師 仙台大学 教授 小浜明 ○指導助言者（コーディネーター） 品川区教育委員会事務局 指導課 統括指導主事 唐澤好彦
		③ 岡山県備前市立片上小学校 養護教諭 西田直美	
		③ 岩手県一戸町立一戸中学校 養護教諭 古井美恵子	
第5課 題	歯・口の健康づくり	① 鹿児島県立曾於高等学校 養護教諭 實方めぐみ	○講師 公益社団法人日本学校歯科医会 副会長 柘植紳平 ○指導助言者（コーディネーター） 横浜市教育委員会事務局 小中学校企画課 課長 根岸淳
		② 広島県東広島市立八本松小学校 養護教諭 天満弘美	
		③ 岡山県立岡山西支援学校 養護教諭 森美恵子	

課題		研究協議題	研究協議題設定の趣旨	研究協議の内容
第6課題	学校環境衛生	快適な学校環境づくりを目指す学校環境衛生活動の進め方	<p>快適な学習環境をつくるためには、環境衛生活動の充実を図るとともに、教職員及び児童生徒が学校における環境衛生について関心を持つことが必要である。</p> <p>そのため、学校環境衛生基準を踏まえた学校環境衛生活動の進め方について協議する。</p>	<p>① 計画的・組織的な学校環境衛生活動の実施と事後措置について</p> <p>② 学校環境衛生管理の徹底を図るための取組について</p> <p>③ 学校薬剤師との連携による学校環境衛生の取組について</p>
第7課題	喫煙、飲酒、薬物乱用防止教育	安全で豊かな社会と健康を守り育てるための喫煙、飲酒、薬物乱用防止教育の進め方	<p>近年、青少年の喫煙や飲酒、薬物乱用が広がりをみせ、依然として深刻な状況にあることから、安全で豊かな社会と自らの健康を守り育てるための教育を充実する必要がある。</p> <p>そのため、発達の段階に即し、喫煙や飲酒、薬物乱用の防止教育を推進する方法について協議する。</p>	<p>① 喫煙、飲酒、薬物乱用防止教育に関する指導計画の作成、実施、評価及び改善について</p> <p>② 小学校、中学校、高等学校における喫煙、飲酒、薬物乱用防止教育の進め方について</p> <p>③ 学校、家庭及び地域社会が連携した喫煙、飲酒、薬物乱用防止教育の進め方について</p>
第8課題	学校事故防止対策	事件や事故、災害を未然に防ぐ事前の危機管理や発生時の適切な対応について	<p>学校事故を未然に防ぐためには、日本スポーツ振興センター災害共済給付データを活用した事故分析手法を各学校で生かすとともに、同センターの調査研究についての理解を深める必要がある。</p> <p>また、事故検証やそれに基づいた再発防止策の立案と実施、継続、情報発信等の方法について協議する。</p>	<p>① 日本スポーツ振興センターの災害共済給付データを活用した安全対策について</p> <p>② 事件や事故、災害の検証に基づいた再発防止対策の在り方について</p> <p>③ 事件や事故、災害発生時の適切な対応の在り方について</p>
第9課題	教科等における安全教育	発達の段階に応じた効果的な安全教育について	<p>生涯にわたり安全な生活を送るためには、自他の生命尊重の理念を基盤として、進んで安全で安心な社会づくりに貢献できる資質や能力を育成する必要がある。</p> <p>そのため、発育発達の段階における特徴を考慮しつつ、効果的な安全教育の進め方について協議する。</p>	<p>① 安全で安心な社会づくりへの参画を意識し、自らの責任を自覚して行動する生徒の育成について</p> <p>② 的確な判断のもと主体的に行動し、地域の安全活動等に参加する生徒の育成について</p> <p>③ 自らの安全を守るために主体的に行動し、他の人々の安全にも気配りができる児童の育成について</p>
第10課題	関係機関等との連携による安全の体制整備	学校・家庭・地域が連携した効果的な安全体制整備の在り方と通学路における安全確保の方策について	<p>学校安全体制を充実させるためには、校内体制を整備するとともに、関係機関や地域ボランティア等との連携を深めることが重要である。</p> <p>そのため、学校、家庭及び地域社会が連携した効果的な安全体制整備や安全確保方策の在り方について協議する。</p>	<p>① 学校安全充実のための効果的な校内体制の在り方について</p> <p>② 関係機関や地域ボランティア等との連携による防犯・交通安全の体制整備について</p> <p>③ 関係機関や保護者・地域住民等との連携による災害安全の体制整備について</p>

課 題		研究発表者	講師・指導助言者（コーディネーター）
第 6 課 題	学校環境衛生	① 栃木県立大田原高等学校 養護教諭 渡 部 るみ子	○講 師 東京薬科大学薬学部 教授 北 垣 邦 彦 ○指導助言者（コーディネーター） 山梨県教育庁保健体育課 技 師 雨 宮 彩 花
		② 山口県立山口南総合支援学校 養護教諭 桑 原 詔 子	
		③ 岡山県学校薬剤師会 副会長 庄 司 藏 万	
第 7 課 題	喫煙、 飲酒、 薬物乱用 防止教育	① 秋田県仙北市立西明寺中学校 教 諭 伊 藤 博 幸	○講 師 国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所薬物依存研究部 依存性薬物研究室 室 長 船 田 正 彦 ○指導助言者（コーディネーター） 札幌市立平岸西小学校 校 長 北 原 徹 也
		② 島根県出雲市立鱒淵小学校 養護教諭 鎌 田 美 紀	
		③ 岡山県立津山高等学校 養護教諭 石 田 帆 乃 夏	
第 8 課 題	学校事故防止対策	① 独立行政法人 日本スポーツ振興センター学校安全部 安全支援課長 田 中 文 人	○講 師 学校安全教育研究所 代 表 戸 田 芳 雄 ○指導助言者（コーディネーター） 南九州市教育委員会学校教育課 課 長 竹 下 公 博
		② 栃木県教育委員会事務局学校安全課 主 幹 石 嶋 幸 夫	
		③ 広島県北広島町立芸北中学校 校 長 河 野 通 之	
第 9 課 題	教科等における安全教育	① 岡山県笠岡市立神島外中学校 教 諭 藤 原 勝 利	○講 師 東京学芸大学教職大学院 教 授 渡 邊 正 樹 ○指導助言者（コーディネーター） 高槻市教育委員会事務局 教育指導課 課長代理 小 寺 基 之
		② 大阪府松原市立松原第三中学校 指導教諭 大 畑 直 輝	
		③ 高知県黒潮町立南郷小学校 校 長 坂 本 恭 美 子	
第 10 課 題	関係機関等との連携に よる安全の体制整備	② 岡山県高梁市立津川小学校 校 長 佐 藤 裕 之	○講 師 大阪教育大学 教 授 藤 田 大 輔 ○指導助言者（コーディネーター） 岡山県教育委員会 岡山教育事務所 生涯学習課長（生涯学習班長） 木 下 史 子
		② 川崎市教育委員会事務局 学校教育部健康教育課 課 長 小 竹 誠	
		③ 広島県立五日市高等学校 教 諭 田 村 恵 司	